

雨の中、石狩浜海浜清掃ボランティア



参加者に達成感漂う

1年の中で北海道の一番過ごしやすい季節を挙げろといわれれば、ほとんどの人は「5月下旬から6月にかけて」というだろう。確かにライラックやモクレンなどの花々が一斉に咲き乱れ、街中が突如として花畑のようになるのは圧巻。そして花の開花に合わせるかのように、学校の運動会や登山などのアウトドアが始まります。

毎年、北海道の海岸線の清掃活動を行っている「北海道海浜美化を進める会」（水崎呈会長）も、この時期に合わせて5月28日、海岸清掃を行いました。場所は日本海に面する石狩市の石狩浜。ところが、この日はあいにくの雨。「海浜清掃を行って6年目に入りますが、これまで雨に遭遇したことは一度もありません。正直言って清掃活動を行うか中止するか事務局として非常に迷いましたが、『雨だからこそゴミ拾いをやろう』という声に押されて決行しました」とは事務局の湯朝さんの弁。

5月28日

120人参加

札幌市内をはじめ、当別町や北広島市など近郊から約120人が参加しての清掃活動となりました。

下は保育園児から上は80代の老人まで世代を超えた活動で、雨に打たれながらも黙々とゴミ拾いに熱中。金網や大型ナイロンシートなどがあちこちに散在していました。結局、集めたゴミの量は約1時間半で40袋、総重量120キログラムに達しました。

参加者の一人は、「雨の中で最初は気が萎えたが、こういう悪条件のときこそ頑張ろうと思ってゴミを集めました」（札幌市内の大学生）と感想を漏らすなど、終わりには達成感、充実感がありました。。確かに悪天候は、環境的には最悪だったが、それ以上の感動を参加者に与えたようでした。

テレビ局、新聞社も取材にきており、夜のニュースで放映されました。

次回の海浜清掃は9月に浜益海岸で行う予定です。

